



## 第1回市民まちづくりワークショップを開催しました！

➤ 城陽市では、第4次城陽市総合計画の策定にあたり、今後10年間のまちづくりの目標や方針について、市民の皆様と行政等が共有することを目的として、学識経験者、各種団体の代表及び公募市民の方々の25名のメンバーで構成する「市民まちづくりワークショップ」を設置し、平成27年12月9日に第1回を開催しました。

### 【当日のスケジュール】

1. 開会  
・任命書交付  
・市長あいさつ
2. 出席者紹介
3. スケジュール説明
4. 総合計画策定にあたって
5. 勉強会 ～城陽を考える～
6. 本日のワークショップの進め方
7. ワークショップ  
～城陽市の「強み」について～
8. 閉会

### ～ワークショップの開催にあたって奥田市長から挨拶～

全国的な傾向と同様に、城陽市では平成8年の約86,000人をピークとして人口の減少傾向が続いており、少子高齢化や、若者の市外流出による人口構造の変化などが生じており、これらを踏まえた子育て支援や高齢者の福祉施策の見直し、地域社会の維持に向けた取り組みが必要となっています。

また、城陽市を取り巻く今後の社会環境は、平成35年度に新名神高速道路の全線開通という大きな転換期を向かえるとともに、新市街地の整備、東部丘陵地の土地利用、JR奈良線の複線化事業が進行するなどこれからの10年で大きくまちが変わろうとしています。

これらを踏まえ、平成29年度からの新しい第4次総合計画の策定に向けて、委員の皆様それぞれの立場から、城陽市が今後どのようなまちをめざしていくべきか、行政や市民、地域社会としてどのようにまちづくりに取り組んでいくのか、活発な議論をお願いいたします。



奥田市長 挨拶

### ～小島先生に「城陽を考える」をテーマにご講演いただきました～

➤ 京都大学大学院人間・環境学研究科 小島教授に、ご専門の地理学の見地から、城陽市の地理的な位置づけや、過去50年の城陽のまちの変化と現在のまちのあり方、そして先生の研究分野である中国のまちについて説明を交えながらご講演いただきました。

城陽市の「強み」を考えるうえでは、グローバル化や、日本における城陽、京阪神における城陽といった多様な視点からの考察が重要です。また、城陽市内において学生とフィールドワークを行いました。同じ市内でも都市と農村が併存しているなど地域性が存在し、若い世代の定住ポテンシャルに繋がるなど、城陽の中の多様性についても「強み」にとらえることができるのではないのでしょうか。



小島先生のご講演

## ～城陽市の「強み」についてみんなで意見を出し合いました～

➤ 3グループに別れ、地域の良いところや自慢したいところについて話し合い、最後に発表しました。

### 【各グループの主な意見】

#### ■Aグループ

大都市に近く 便利	・都市、特に京阪に近い、いわゆるベットタウン
住民のまとまり がある	・市が小さいので、防災面、その他でまとまりが良い。旧住民と新住民がうまく共存している
施設が充実／ 子どもも育てやすい	・老人が憩い、活動できる施設が多くある。それも立派なもの ・保育園、学童保育、学校給食が充実している
地域活動がさ かん	・コミセン活動がさかん ・住民活動が小学校区単位でまとまっており、団結力が強い
歴史が豊か	・深谷は自然環境に恵まれている。買物、バスなども便利。史跡も多い。 ・多くの史跡があり、歴史が豊か。国道 307 号も歴史のある道。
自然が豊か	・気候が比較のおだやかで、住みやすい ・ゴルフ場、青谷梅林、木津川、古川がある

#### ■Bグループ

地元とのつなが り	・幼なじみが多い。一度市外に出ても戻ってくる ・コミセン運営、地域毎の運営形態がすばらしい
特産品がある	・地産地消(学校給食) ・金銀糸産業と産物、花しょうぶ(京阪神シェア 90%)、お茶、てん茶、梅(青谷)、いちじく
歴史がある	・古墳、昔から住みよい地域であった
交通の便が良 い	・京都から五里、奈良から五里、五里五里の里 ・近畿のへそ ・自転車、徒歩範囲内で不自由がない ・近鉄・JRの2アクセスが利用でき、通勤・通学に便利
これからも住み 続けたい	・福祉の街(京都の中でも優れている) ・東部丘陵地、ポテンシャル高い ・災害が少なく安心、安全

#### ■Cグループ

広域的な視点 での立地	・地域的にまとまりがある
交通の便	・京都・奈良等(五里五里)へのアクセスが便利
水	・上質な水、豊富な地下水
自然	・身近に素晴らしい自然がある ・山(鴻ノ巣山)と川(木津川)
歴史資源	・古墳が多い ・掘り起こせば、面白い歴史がある
コミュニティセン ターの充実	・コミュニティセンター等施設が充実している
農作物	・多様な農産物の栽培が可能
人の和	・人の和がある
人材	・シルバー人材、ボランティアとして活躍できる高齢者が多い



グループでの  
話し合い風景



グループ発表風景

➤ 各グループからの発表後、小島先生に講評いただきました。

「位置と交通」「歴史」「コミュニティ」については、全てのグループで指摘があり、城陽市の「強み」として皆さんが誇りにしておられることがわかりました。一方で「産業」については、特産品を除くと、どのグループからも出てきませんでした。これからの10年間には、新たな強みとして産業が加わってゆくことを期待させる動きがあるように思います。

## ～第2回は平成28年1月開催予定です～

➤ 非常に短い時間でしたが、多くのステキなご意見をいただき、改めて城陽市の「強み」について皆さんと共有できました。このワークショップはおおよそ月1回、全8回の開催を予定しており、次回は平成28年1月に「10年後の城陽市を考える」をテーマとして開催予定です。

### 【お問合せ先】

城陽市役所 企画管理部 企画調整課  
TEL : 0774-56-4041 FAX : 0774-56-3999  
E-mail:kikaku@city.joyo.lg.jp

